

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

子育て支援ボランティア ドレミ

婦人会館主催の「子育て支援養成講座」の修了者が中心となり、平成14年に発足。仕事や家事の合間にできる範囲で、一時保育などのボランティア活動を行っている「子育て支援ボランティア ドレミ」のみなさんを岡村市長が訪問。活動内容などについて聞きました。



市長 みなさんこんにちは。早いもので弥生3月、本格的な春の訪れが待ち遠しい季節となりました。今月の市長のふれあい訪問は、「子育て支援ボランティア ドレミ」のみなさんです。どうぞよろしくお願いいたします。はじめに代表の田中さんにお聞きしますが、このボランティアグループのドレミはいつ発足したのですか。

田中 平成13年10月から平成14年3月まで行われた、子育て支援養成講座の受講者が中心となり発足しました。

石川 せっかく受講したので、このまま終わらせるのはもったいないとの思いで、修了者の7割以上の方が集まり、平成14年4月に発足しました。

市長 養成講座が修了して、すぐに発足したのですね。現在、何人の会員で、どのような活動されているのですか。

田中 発足当初は25人でしたが、現在は30人で活動しています。市内の公民館や保健セン

ターで実施する子育て講座などをお母さんが受講中に、子どもたちを一時保育するボランティアをしています。

市長 メンバーの中には、ご自身も子育て真っ最中という方もいるのではないですか。

鈴木 私は小学生の子がいますが、子育てしながらでも、できる範囲でお手伝いができればと入会しました。

山添 子どもが幼稚園に入園したときから、このボランティアに参加し、子どもと一緒に参加したこともあります。子どもも母親の私が活動する姿を間近に見てきましたので、私のボランティアに対する気持ちを理解してくれていると思います。

市長 海老原さんはコーディネーターということですが、どのような役目なのですか。

海老原 一時保育の依頼があったときに、メンバーの日程調整や派遣できるメンバーの人数調整などを行います。

市長 子育てボランティアをしていて、子どもから教えられることなどはありますか。

浜 たくさんあります。やはり、子どもの笑顔をみていると元気をもらえますので、とてもやりがいのあるボランティアです。

市長 「子育てホットとサロン」という活動もされているようですが。

田中 ドレミの主な活動の一つです。月に1回青少年会館を利用して、子どもを遊ばせながら、ほかのお母さんとの交流や意見交換の場として、また、季節に応じた催し、親子で楽しめる手遊びや絵本の読み聞かせなどを行っています。

市長 不景気の中、働くお母さんも多いと思いますので、お父さんにも子育てに積極的に参加してもらおうと思いますが、これからの課題だと思いませんか。

海老原 私の周りをみても、子どもの学校行事を見に行く程度で、積極的に子育てに参加するお父さんは少ないと思います。



市長 お父さんも、家庭は妻、仕事は自分だということではなく、互いに理解し合うことが大事ですよ。

最後に今後の抱負などがありましたらお聞かせください。

田中 子育て支援をとおして、地域での活動に、これからも協力できたらと思っています。

市長 ボランティアで子育て支援活動を行っておられるみなさんに、改めて感謝いたします。子どもたちが、健やかに成長してくれるのが一番ですので、これからは頑張ってください。今日はありがとうございました。